

高齢者の総合相談窓口です

ち い き ほう かつ し え ん

地域包括支援センターだより

白糠町役場 保健福祉部 介護福祉課 介護支援係

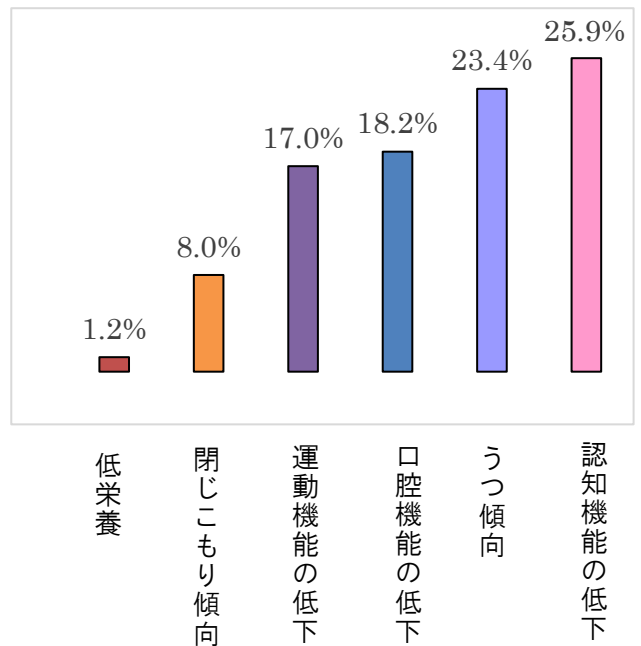
第 7 4 号

(白糠町地域包括支援センター) ☎ 2-2171 内線 527・528 (令和8年9月発行)

日常生活の機能に係る調査(アンケート調査)の結果について

4月下旬に、庶路・西庶路地区にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に行ったアンケート調査について、「基本チェックリスト」の集計結果を報告します。

「基本チェックリスト」は、今の健康状態や生活の様子に関する質問で主に右グラフにある6つの項目の確認をしていますが、今回は「認知機能の低下」がみられる方が **25.9%**と一番多く、次いで「うつ傾向」「口腔機能の低下」が多い結果となりました。白糠町では、高齢者の方が元気でいきいきと生活が続けられるよう、様々な介護予防事業を実施していますので、ぜひ積極的にご参加ください。



白糠町の認知症に関する取り組みを紹介します

白糠町SOSネットワーク



認知症などの症状で自宅に戻れず行方不明になった方に対して、協力機関が連携し行方不明者の情報共有を行い、早期発見に努めます。

安心サポートGPS貸出事業

高齢者の外出時の安心安全のため、GPS機器（位置情報発信装置）の貸出を行います。



靴ステッカー交付事業



認知症による高齢者の一人歩きの早期発見を目的として、反射材に登録番号を印字した靴用ステッカーを無料で交付します。

認知症サポーター養成講座の開催



認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る地域のサポーターを養成する約90分の講座です。5人以上集まれば職員が出向きますので、気軽にお問い合わせください。



9月は世界アルツハイマー月間です



1994年9月21日にスコットランドで第10回アルツハイマー病協会国際会議が開催され、会議の初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」と宣言しました。アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的とし、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。2012年からは9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、全国的に様々な取り組みを行っています。白糠町では「認知症になっても安心して暮らし続けられるまちづくり」を目指し、下記のとおり事業を開催しますので、ぜひご参加ください。

☆認知症関係の展示コーナー☆

認知症関係の書籍や町内にある介護施設のケアホーム春風の利用者様、グループホームななかまどの里の入居者様による作品の展示を行います。

期 間：令和8年9月8日(火)～9月30日(水)

場 所：白糠町社会福祉センター

・書籍展示～臨時図書室

・作品展示～2階ロビー



☆みんなの介護教室(認知症フレンドリー講座)☆

例年、介護に関する知識の習得を目的に行っている介護教室ですが、今年度は認知症についての基礎知識や認知症の方への接し方などを学ぶ講座を開催いたします。この講座では、VR（バーチャルリアリティ）を活用し、認知症の方が感じている世界の疑似体験も行います。

日 時：令和8年9月10日(木)13:30～15:30

場 所：白糠町社会福祉センター

定 員：40名(先着順)

申込先：介護福祉課介護支援係(TEL:2-2171 内線527・528)

※生き活きしらぬか活動応援ポイント事業の対象です。

